

令和2年6月26日

保護者各位

子宝保育園園長

### 水遊び、プール活動についての大切なお知らせ

皆さまもニュースなどでご存知の通り、ここ数年、保育園や幼稚園のプール事故が毎年のように起きています。いずれも、遊んでいる子どもたちを見守るべき職員がいなかった、または、いたものの他の作業をしていたため、発見・救助が遅れたことが原因として指摘されています。

2016年3月31日に内閣府から出された安全のガイドラインで「監視者は監視に専念する」と明記されており、その後も同様の指示が出ています。私たちの園でも深刻な事故をできる限り防ぐべく監視体制、指導体制を見直し、具体的に取り組んでいます。

保護者の皆さまにも以下のことをご承知おきいただけますようお願いいたします。

1) 過去の主なプール事故事例では、30人近くの子どもたちがプールの中にいたと報告されており、監視自体の難しさも指摘されています。そこで私どもでは監視を少しでも容易にするため、1回に水遊び、プール活動をする子どもの数を減らします。その結果、水遊び、プール活動の回数や時間が減ることがあります(水遊びでも、たらいなどに水をためますと監視は必要です)。

2) 職員配置やその日の状況で監視体制を確保することができないと判断した場合、当日でも水遊び、プール活動を中止する可能性、プール活動を水遊びに変更する可能性があります。

3) プール活動は、排泄、着替え、荷物の管理などを自分でできる子が対象です。水泳帽も自分でかぶれるように髪を短くする、ゴムで縛ってまとめ髪にして登園する等、ご家庭からの配慮をお願いします。

子どもたちが楽しく、安全に夏を過ごすことができるよう、ご理解のほどよろしく願いいたします。ご意見やご質問がございましたら、いつでも園長または職員にお声がけください。